

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	7		法令基準以上の広さを確保し、配置を工夫しながら落ち着いて学習に取り組める環境づくりをおこなっています。	
	2	7		配置基準以上の職員を配置し、全員が児童発達支援管理責任者・保育士・児童指導員等の資格を有しています。理学療法士・作業療法士も配置しております。	
	3	7		児童に分かりやすい環境づくりに配慮しています。玄関前には2段階の階段がありバリアフリーではありませんが、付き添いをおこない安全に配慮しています。	
	4	7		運動と学習の空間を分け、児童が活動しやすい環境を整えています。日々の掃除と消毒を徹底し、快適な空間づくりに努めています。	
	5	7		ワンフロアのため常に個室の確保は難しいですが、必要に応じて確保できるよう努めています。	構造上、常に個室を提供することは難しいですが、必要に応じて利用できるような努めています。今後、パーティションの活用も検討してまいります。
業務改善	6	7		勤務時間内に業務連絡や療育内容の確認をおこなう場を設け、月1回のリフレクション会議で支援の改善点や療育計画を共有しています。	
	7	7		年に一度のアンケートを実施し、評価をもとに保護者様のご意見を職員間で共有し、業務改善に活かしています。	
	8	7		朝会・昼会・就業前に気付きや疑問について話し合い、支援の振り返りや業務改善に努めています。	
	9	7		現時点では第三者評価は実施しておりません。	第三者による外部評価は、今後の課題として検討してまいります。
	10	7		年固計画に基づき、定期的に事業所内研修をおこない、職員の資質向上を図っています。	
適切な支援の提供	11	7		支援プログラムを作成し、令和7年度に向けた公表準備をしております。	支援プログラムを作成し、令和7年度に向けた公表準備をしております。
	12	7		児童発達支援管理責任者が中心となり、適切なアセスメントをおこない、児童や保護者様のニーズや課題を把握し、より良い支援・療育につなげています。	
	13	7		支援計画の原案を会議で検討し、全職員で児童の現状や課題を共通理解しています。	
	14	7		支援計画作成時には全職員で話し合い、更新後は職員間で共有し、目標達成に向けた療育をおこなっています。	
	15	7		社内共通のアセスメントシートを使用し、保護者様から細かく情報を聞き取り、計画作成に活かしています。	
	16	7		支援計画にはガイドラインを踏まえ、「本人支援」「家族支援」「移行支援」を明記し、児童・保護者様と共有した情報やニーズに基づき適切な支援内容を組み合わせています。	
	17	7		児童発達支援管理責任者・保育士・児童指導員・作業療法士が、それぞれの立場から意見を出し合い、児童の特性を把握したうえでプログラムを立案しています。	
	18	7		職員間で話し合いながら、定期的な活動を見直し、固定化しないよう工夫しながら支援をおこなっています。	
	19	7		日々の児童の状況を把握し、個別活動と集団活動を適切に組み合わせた支援をおこなっています。	
	20	7		毎朝のミーティングで児童の状況を共有し、当日の支援内容や最近の様子を確認し合っています。また、保護者様からの連絡も共有しています。	
	21	7		現場の職員で毎日打ち合わせをおこない、振り返りを実施しています。送迎で不在の職員にはノートを活用し、共通理解を図っています。	
	22	7		日々の経過記録を残し、職員間で共有しながら支援の検証・改善に活かしています。	
	23	7		6ヶ月以内に必ずモニタリングを実施し、保護者様のニーズや児童の状況を把握し、計画の見直しをおこなっています。	
	24	7		児童の状況や保護者様の意向を踏まえ、ガイドラインの基本活動を組み合わせた支援計画を作成しています。	
	25	7		児童の自己選択・自己決定を促し、一人ひとりに適したサービスを提供しています。	
関係機関や保護者様との連携	26	7		対象児童について職員間で事前に話し合い、現状を把握したうえで、児童発達支援管理責任者が担当会議に参画しています。	
	27	7		担当会議を通じて関係機関と連携し、支援体制を整えています。	
	28	7		送迎時などの機会を活用し、保護者様や学校と児童の状態や変化について情報共有・意見交換をおこなっています。送迎時間の変更や学校行事などの重要な連絡事項についても、保護者様や学校と連携を図っています。	
	29	7		児童が在籍していた教育機関や支援事業所とは、担当会議などで密に情報共有し、相互理解に努めています。	
	30	7		情報提供を求められた場合は、保護者様の確認をとり、必要な情報提供ができるよう備えています。	現在、状況提供の場はありませんが、依頼があれば対応してまいります。
	31	7		児童発達支援センターや他事業所との打ち合わせに出席し、情報共有や連携を図っています。	
	32	7		今年度は交流機会を企画できておりません。	現在は交流機会を企画できていませんが、今後の実施に向けて検討してまいります。
	33	7		今年度は協議会等への参加機会がありませんでした。	今後は積極的に参加してまいります。
	34	7		連絡帳や送迎時に保護者様とお話しし、その日の様子を伝え、共通理解を深めています。また、積極的に意見交換をおこない、より良い支援につなげています。	
	35	7		保護者様と現在の状況を共有し、適切な支援方法を考えながらアドバイスできるよう努めています。	
保護者様への説明責任等	36	7		契約時には丁寧な説明を心がけています。	
	37	7		児童や保護者様の意思や意向を丁寧に聞き取り、個別に適切な支援計画の作成に努めています。今後もニーズに沿った計画を作成し、日々の支援に反映してまいります。	
	38	7		支援計画の更新時には、保護者様と直接お会いし、支援目標や内容について説明しております。	
	39	7		児童の状況を十分に把握し、多角的な視点から助言ができるよう努めています。保護者様の気持ちに寄り添いながら助言をおこない、職員間でも内容を共有し、より良い支援につなげています。	
	40	7		今年度は父母の会を開催する機会がありませんでした。	保護者様のご意向に配慮し、保護者様同士や職員との交流の機会を検討してまいります。
	41	7		行事予定や活動概要は連絡帳やカレンダーに掲載し、季節ごとに「COMPASS だより」を発行しています。公式 Web サイトのブログでは、毎日事業所の活動内容や児童の成長を紹介しています。	
	42	7		個人情報や連絡帳は鍵付の書庫に保管し、写真掲載など個人情報が保護者様の同意を得たうえで取り扱っています。	
	43	7		事業所内の個人情報は鍵付の書庫に保管しています。写真掲載など、個人情報に関わる場合には保護者様へ同意を得ています。	
	44	7		児童の特性に応じた情報伝達や意思疎通に配慮しやすく伝えるよう心がけています。	
	45	7		今年度は、地域住民をご招待する機会を設けることができませんでした。	今後保護者様のご意向を伺いながら、必要な取り組みを検討してまいります。
非常時等の対応	46	7		各種マニュアルを作成し、職員がすぐ確認できるよう事業所入口付近に掲示しています。	
	47	7		業務継続計画(BCP)を策定し、年固計画に基づき災害や不審者対応訓練を実施しています。訓練の内容や様子は、連絡帳や事業所だよりでお知らせしています。	
	48	7		アセスメント時に聞き取りをおこない、てんかん発作時の対応方法を保護者様から詳しく伺い、掲示や職員周知を徹底しています。定期的に発作の有無を確認し、職員と情報共有しています。	
	49	7		食物アレルギーについては契約時に保護者様から十分に聞き取りをおこない、全職員で周知徹底しています。	
	50	7		安全計画マニュアルを作成し、研修や避難訓練を実施しています。また、定期的な設備・車両の点検をおこない、事業所内外での安全確保に努めています。	
	51	7		安全確保計画を作成し、取り組み内容を掲示・周知しています。避難経路はプリントを配布し、保護者様にもお知らせしています。	
	52	7		ヒヤリハット報告書を作成し、事例はファイルで保管しています。作成時には全職員で内容を確認し押印し、再発防止に努めています。	
	53	7		定期的に職員研修を実施し、虐待防止の理解と意識向上に努めています。事業所内研修に加え、外部研修にも参加し、知識を深めています。	
	54	7		利用契約時に身体拘束の禁止について記載しており、生命や身体を保護するためにやむを得ず実施する場合は、あらかじめ保護者様の同意を得ることとし、個別支援経過記録にも記載しています。	

〇この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体でおこなった自己評価です。